

行政経営の大綱

～市民とともに京都の未来を切り拓く～

行政経営の大綱って
なに？



この計画を進めていくために市役所がす
ることをまとめたものが、「行政経営の
大綱」なんだ。

基本理念

本計画の6つの「京都の未来像」とそれらを踏まえた27の政策分野における「みんなでめざす10年後の姿」には、市民をはじめとするさまざまな活動主体がそのもてる力を存分に發揮し、いきいきと連携することによって生まれる、豊かで力強いこれからの中のあり様を描き出している。

このような地域に住むものがみずからの意思と責任でみずからのまちづくりを進める時代にあって、行政は、個人や地域が引き受けることのできない分野を担うことはもとより、他の活動主体と共に汗しながら、地域社会に大きな力を生み出し、その豊かさを下支えするような存在とならなければならない。

そのための行政経営のあり方として、変化に迅速、的確に対応するための柔軟性、公務遂行の責任を果たすための職員の専門性を追求し、かつ持続可能な財政を構築するために、財政構造の着実な改革を果たすとともに、市民に一層開かれ、市民とともに京都の未来を力強く切り拓く市役所づくりを進めていく。

基本方針

① 参加と協働による市政とまちづくりの推進

市民の知恵と力を生かした市政を実現するため、市民の積極的な市政への参加と、市民と行政との協働を進めるとともに、「自分たちのまちは自分たちでつくっていく」という市民主体のまちづくりを進める。

② 情報の公開・共有と行政評価の推進

情報の公開、提供を推進し、市民と情報を共有するとともに、政策、施策、事務事業等の評価を行う行政評価をさらに充実させることにより、市民への説明責任を果たし、市民に身近で一層開かれ、効果的かつ効率的な市政を推進する。

③ 持続可能な行財政の確立

時代の変化等をつねにとらえながら、公民の役割分担を絶えず見直し、最適な市民サービスを提供する。また、低成長・少子高齢化時代にあっても、市民の安心・安全な生活をしっかりと支え、将来にわたり必要な施策、事業を実施していくため、これまでの財政構造のあり方を根本的に見直す。

そのために、歴史都市である京都の都市特性を踏まえつつ、京都の未来に責任をもち、将来の世代に負担を先送りしないという観点から市債残高を減少させ、コンパクトで機動的であるとともに、景気変動等にも耐えうる足腰の強い財政の確立を図る。

また、持続可能な行財政を確立することは、都市の成長のための戦略と財政構造の改革が一体となって初めて可能となるものであり、本計画に掲げる政策の推進と財政構造改革を車の両輪のごとく取り組んでいく。

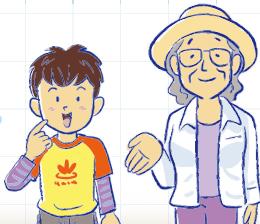
④ 一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成、市役所庁舎の整備

時代や市民のニーズ、新たな課題に的確かつ迅速に対応し、最少の経費で最大の効果を発揮することができる組織改革を進める。

あわせて、すべての職員が、創造的かつ主体的に職務を遂行し、仕事に対する意欲を高め、さらには「みずからが市政を改革・創造する」という意識をもつなど、新たな組織文化を根付かせ、市民に一層信頼される市役所づくりに努める。

計画の推進

計画を進めていくためには何が大事なのかなあ？



京都のまちづくりを支えるすべてのひとが計画の目標や進み具合をしっかりと理解して、努力していくことが大事だね。そのためには計画を推進し、点検する方法をまとめているんだよ。

「共済型計画」として策定する本計画を推進するうえでは、市民、NPO、企業、大学など京都のまちづくりを支えるすべての主体と行政とが計画に描く目標とともに、その達成状況をしっかりと共有し、役割分担と協働によって、目標の実現に向けた努力を積み重ねていくことが重要である。同時に、社会経済情勢の変化等に柔軟かつ的確に対応し、計画を進化させる必要がある。

こうした観点の下、本計画に掲げた政策の着実な推進に向けて以下の取組を行う。

1 計画に掲げた政策の推進

(1) 「実施計画」の策定、推進

本計画の実効性を確保するために、本計画の下位計画として、重点戦略及び行政経営の大綱を推進するための個別具体的な事業やスケジュール、目標等を明示した5年程度を計画期間とする「実施計画」を策定し、推進する。

また、インターネットの活用などによって、その進ちょく状況を定期的に公表する。

(2) 「各区基本計画」、「都市計画マスターplan」等との連携

本計画と同列・相互補完の関係にある「各区基本計画」と一体として政策を推進する。

また、本計画に基づく分野別計画として、「都市計画マスターplan」をはじめ分野ごとの計画等の策定又は必要に応じた見直し等を行い、分野ごとに個別・具体的な取組を推進する。

2 計画に掲げた政策の点検

(1) 政策評価制度の実施

政策評価制度によって、政策の目的がどの程度達成されているかを毎年度評価する。

また、評価結果の市会への報告、市民への公表を適宜行うとともに、より効果的な市政の運営や政策の企画・立案に活用する。

(2) 点検委員会の設置

政策の進ちょくが一定見られる時期に、市民も参加する点検委員会を設置し、本計画の達成状況の総括及びその間の社会経済情勢の変化に応じた政策の見直しの必要性について点検を行う。

(3) 実施状況の報告、公表

「京都市会の議決に付すべき事件等に関する条例」に基づき、本計画の実施状況を毎年度、市会へ報告し、市民に公表する。

3 国や関係自治体との連携

地域主権時代にふさわしい地方自治の確立をめざし、国への提言に取り組むとともに、京都府とのより一層の連携強化と政策の融合を図り、府市協調の下、効率的、効果的に政策を推進する。

また、他の政令指定都市や近畿圏、京都都市圏における周辺自治体との広域的な政策連携によって、政策を一層効率的、効果的に推進する。

京都市基本計画審議会委員名簿

(50音順、敬称略、平成22年11月4日現在)

②副部会長	*秋月 謙吾	京都大学大学院法学研究科教授	副会長	*立石 義雄	京都商工会議所会頭
副会長	*浅岡 美恵	NPO法人気候ネットワーク代表、弁護士	②	田中 翔	公募委員
①	朝原 宣治	北京オリンピックメダリスト、大阪ガス株式会社	③	田中 誠二	学校法人大和学園学園長
①	浅利 美鈴	京都大学環境保全センター助教	④	谷口 知弘	中京区基本計画策定委員会座長、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
②	麻生 圭子	エッセイスト	④部会長	*塚口 博司	立命館大学理工学部都市システム工学科教授
①	安保 千秋	弁護士	②	辻 俊子	公募委員
③	荒牧 敦子	公益社団法人認知症の人と家族の会 京都府支部代表	③	津止 正敏	南区基本計画策定委員会代表、立命館大学産業社会学部現代社会学科教授
①	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元	④	土井 勉	右京区基本計画策定委員会座長、京都大学大学院工学研究科・医学研究科安寧の都市ユニット特定教授
①	石田 捨雄	株式会社京都環境保全公社取締役会長	④	富樫 ひとみ	公募委員
①	板倉 豊	西京区基本計画策定審議会議長、京都精華大学人文学部環境社会学科教授	①	仲上 健一	下京区基本計画策定委員会座長、立命館大学政策科学部政策科学研究科教授
②	市川 貢	北区基本計画策定懇談会座長、京都産業大学経営学部教授	③	長屋 博久	京都市PTA連絡協議会前副会長
①部会長	*乾 亨	立命館大学産業社会学部教授	②	*新川 達郎	未来の京都創造研究会座長、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
②	井上 元	京都府政策企画部長 (平成22年5月から)	③副部会長	*西岡 正子	佛教大学四条センター所長・教育学部教育学科教授
②	岩井 吉彌	元京都大学大学院農学研究科教授	②	西村 明美	柊家株式会社取締役
④副部会長	*上村 多恵子	詩人、京南倉庫株式会社代表取締役社長	③	西脇 悅子	京都市地域女性連合会会長
①	江頭 節子	弁護士	②	橋爪 紳也	伏見区基本計画策定委員会座長、大阪府立大学観光産業戦略研究所長
①	遠藤 有理	公募委員	①	濱崎 加奈子	伝統文化プロデュース連REN代表
会長	*尾池 和夫	財団法人国際高等研究所所長、前京都大学総長	③	原 健	社会福祉法人京都市社会福祉協議会顧問
④	大島 祥子	スククリエイティブ事務所代表、楽洛まちぶら会事務局	②	*平井 誠一	京都市未来まちづくり100人委員会代表幹事、株式会社西利代表取締役専務
③	大前 紘美	公募委員	④	藤井 智	京都大学大学院工学研究科教授
④	織田 直文	山科区基本計画策定委員会座長、京都橘大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科教授	④	藤田 晶子	フリーエディター
①	小幡 正雄	公募委員	①	細田 一三	日本労働組合総連合会京都府連合会会長
①	曽谷 寿	上京区基本計画策定委員会委員長、同志社女子大学名誉教授	②部会長	*堀場 厚	京都府経済同友会特別幹事、株式会社堀場製作所代表取締役会長兼社長
①副部会長	*梶田 真章	本山獅子谷法然院貫主	②	*松山 大耕	未来の担い手・若者会議U35議長、妙心寺塔頭・退蔵院副住職
②	柏原 康夫	株式会社京都銀行代表取締役会長、社団法人京都市觀光連盟会長	④	光本 大助	公募委員
④	上総 周平	社団法人京都府觀光連盟会長、国土交通省近畿地方整備局長	副会長	*宗田 好史	次代の左京まちづくり会議座長、京都府立大学大学院生命環境科学研究科(環境科学専攻)准教授
③	加藤 博史	龍谷大学短期大学部社会福祉科教授	①	村井 信夫	各区市政協力委員連絡協議会代表者会議幹事
④	加茂 みどり	大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所所長	③	本村 哲朗	公募委員
④	川崎 雅史	京都大学大学院工学研究科教授	③部会長	*森 洋一	社団法人京都府医師会会長
②	河村 律子	立命館大学国際関係学部国際関係学科准教授	③	山内 五百子	社団法人京都市保育園連盟常任理事
④	小島 富佐江	NPO法人京町家再生研究会理事・事務局長	③	山折 哲雄	東山区基本計画策定委員会座長、宗教学者
④	齊藤 修	株式会社京都新聞社相談役			
③	繁田 正子	京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学講師			
①	茂山 千三郎	大蔵流狂言師			
②	篠原 総一	同志社大学大学院経済学研究科教授			
③	菅原 さと子	社団法人京都市私立幼稚園協会前副会長			
②	孫 美幸	日本学術振興会特別研究員			
④	高田 光雄	京都大学大学院工学研究科教授			
③	竹下 義樹	社団法人京都市身体障害者団体連合会副会長、弁護士			

(計70名)

(前委員)肩書きは、委員就任時のもの

② 高嶋 学 京都府政策企画部長
(平成22年5月まで)

* 氏名の前に付した記号は下記を表す
 ①: うるおい部会委員 ②: 活性化部会委員 ③: すこやか部会委員 ④: まちづくり部会委員
 *: 融合委員会委員 (委員長: 宗田副会長、副委員長: 平井委員)

はばたけ未来へ！ 京プラン

徹底した職員参加

行政

市会

市長

提出

質問
答申

報告・提案
意見・議決

- 融合の視点に立つ全庁を挙げた徹底した議論
- 活発な審議会運営のため、審議材料の提供など適切な対応
- 基本計画策定方針及び審議会答申を踏まえた計画案の決定

未来の京都創造研究会

平成20年10月設置
新進気鋭の若手研究者12名で構成

基本計画策定に向けた本格的な
議論のための検討素材を作成

- ① 基本計画の在り方
(基本計画の枠組み、策定手法等)
- ② 京都の未来像と重点戦略
(目標、課題、取組方策)

※ 平成21年5月「中間報告」提出
同年8月「最終報告」提出

連携

<京都市基本計画策定推進本部>

<本部会議>

本部長：市長
副本部長：3副市長
本部員：管理者・政策監・局区長

<幹事会>

幹事長：政策企画室長
副幹事長：京都創生推進部長
幹事：各局区等庶務担当部長等

<代表会議>

各局等庶務担当部長、
当番区区民部長等

<分野別・局別ワーキング>

各局等の部課長級

分野横断的な5つの視点で融合

分野別
ワーキング

ワ
局
別
ワ
ー
キ
ン
グ

<次期京都市基本計画策定支援プロジェクトチーム>

- 公募職員及び局等からの推薦職員
- 市民参加事業の支援
- 審議会運営及び計画策定に係る連絡・調整

未来の担い手・若者会議 U35

平成21年9月設置
京都にゆかりのあるさまざまな分野で活動する
概ね35歳未満の若者で構成

- 基本計画に対する提案
- 市民参加事業のサポート

意見提出、支援

提案

(京都市基本計画)の策定体制

徹底した市民参加

審議会

会長

徹底した議論で広く市民意見を吸収し、知恵と汗で練り上げる

<京都市基本計画審議会>

<総会>

全員（計70名：学識者15名、各種団体・NPOの代表者等34名、各区基本計画策定委員会等の代表11名、行政機関2名、公募8名）

<融合委員会>

正副会長、正副部会長等15名

- 京都の未来像と重点戦略を検討
- 計画の全体調整

<共済部会>

正副会長以外の委員（各部会16、17名）

うるおい
部会

活性化
部会

すこやか
部会

まちづくり
部会

- 政策の体系を検討（活性化部会は行政経営の大綱を含む）

広範な市民参画によりて計画を検討

- 若者提案事業「私と京都のマニフェスト」、「京・未来予想図」
- 「きょうと絵画・絵日記・ポスター」
- パブリック・コメント（第1次案、第2次案）
- シンポジウム
〔未来の担い手・若者会議U35 企画・運営〕
〔どうすんねん京都!? (H22.5)
京都の未来を考える 食べ物会議 (H23.1)〕
- 1万2千人市民アンケート
- 市政に関する団体からの意見聴取
- 関係行政機関等からの意見聴取
- 基本計画の名称募集
- 基礎調査（みんなで未来の京都を徹底して議論するための基礎資料）
- 市民きょうかんインタビュー（職員が街頭で市民の声を聴取）

職員提案募集

未来像、重点戦略をテーマに募集

連携

各区基本計画の策定

- 基本構想に基づく各区の個性を生かした魅力ある地域づくりの指針となる計画
- 各区において、基本計画策定委員会等を設置し、計画を策定

はばたけ未来へ！京プラン（京

みやこ

平成 19 年度

平成 20 年度

平成 21

4月～6月

7月～9月

京都市
基本計画
点検委員会

審議会
委員公募

未来の京都創造研究会

市民参加

1万2千人
市民
アンケート

若者提案
事業



きょうと絵画・
・ポスター募集

市民
きょうかん
インタビュー

市民
きょうかん
インタビュー

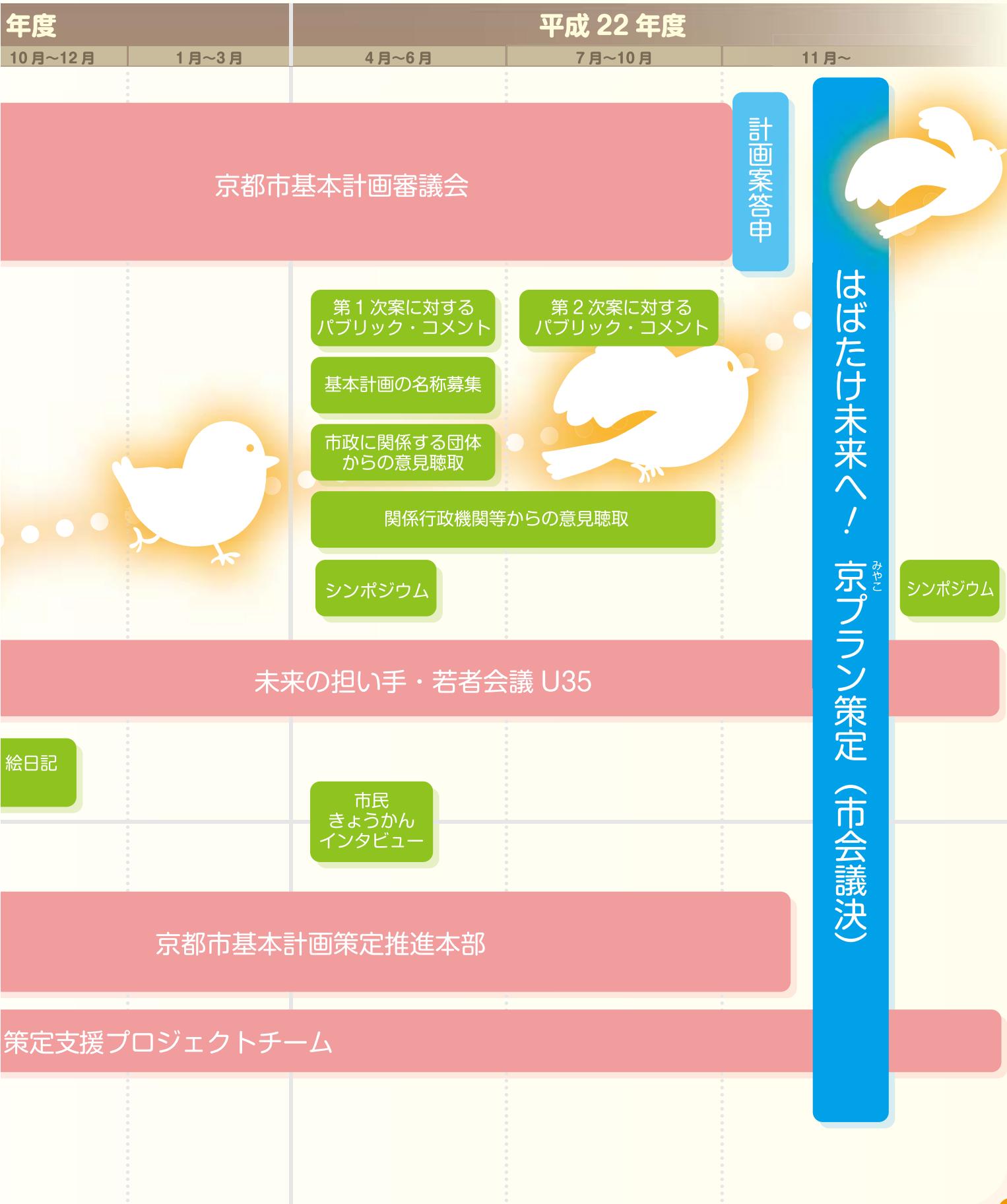
基礎調査

次期京都市基本計画

職員参加

職員提案募集

都市基本計画) 策定までの取組



はばたけ未来へ！
みやこ

京プラン

京都市基本計画

概要版

平成23年2月発行

京都市総合企画局政策企画室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3035 FAX 075-212-2902

http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/soshiki/2-9-4-0-0_3.html



京都市印刷物 第223201号